

# 埼 玉 県 獣医師会 会 報

**医食物物性性病性,以及一种性性病性,以及外外性病性** 

# 第 675 号

#### 令和2年1月20日編集

発 行 所

公益 埼玉県 獣医師 会社団法人 埼玉県 獣医

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340 (埼玉県農業共済会館内)

電 話 048(645) 1 9 0 6 FAX 048(648) 1 8 6 5

E-mail:s-vma@vesta.ocn.ne.jp URL:http://www.saitama-vma.org/ 振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 髙 橋 三 男 編集責任者 大 橋 邦 啓

印刷所㈱アサヒコミュニケーションズ

#### 記事の内容

新年のご挨拶
<b>会務報告</b> 第5回理事会·······3
予告
さいたま市支部学術講習会のお知らせ4
新入会員報告
新入会員紹介4
ひろば
東支部学術講習会開催報告5
北支部学術講習会開催報告5
第148回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ
結果報告6

#### ○お知らせ

日本獣医師会小動物臨床講習会(開催担当:
東京都獣医師会)の開催について $\cdots$ 7
埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ…9
日本獣医師会からのお知らせ11
埼玉県獣医師会学術広報版16
事務局より
事務局メモ・・・・・18
<b>編集後記</b> ············19

## 公益社団法人 埼玉県獣医師会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会員は、それぞれの 職域において、その責務を遂行し、県民の福祉 増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま す。

わたくしたち埼玉県獣医師会員は

- 1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
- 1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
- 1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
- 1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
- 1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう



#### 新年の御挨拶

公益社団法人 埼玉県獣医師会

会長 髙 橋 三 男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて希望に満ちた新年 をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから本会の業務運営に対しまして、 深い御理解と温かい御支援を賜っておりますこと に厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は天皇陛下の生前退位により、元号が平成から令和となり、さまざまな式典や祝賀行事が開催されました。大変おめでたい年でありましたが、その一方で台風19号などの災害により多くの人々が被災をした年でもありました。

一昨年9月に岐阜県で発生したCFS(豚コレラ) は終息することなく、昨年9月にはまさかの県内 での発生となりました。野生のイノシシでも感染 が確認され、養豚場での発生は5件まで拡大しま した。県庁に勤務する会員獣医師をはじめとした 県職員が、過酷な条件のなかでも適切な防疫作業 を実施しました。関東地方では初めての発生であ り、発生状況は新たなステージに突入し、関係各 位の深いご理解により、防疫措置もワクチンを使 用する方法に変更され、県内で飼育されるすべて の豚へのワクチンの初回接種が無料で実施されま した。就任して間もない大野元裕知事には大きな 試練でありましたが、危機管理の専門的な学識と 手腕をいかんなく発揮していただきました。

狂犬病につきましては、国内では徹底した予防注射により、人では昭和32年以降発生をみていませんが、世界中では、今なお毎年約5万人もの死者を出しています。「人と動物の共通感染症」は、世界各地で発生が続いており、その流行防止対策が喫緊の課題となっております。当会も集合注射料金を20年以上据え置いてまいりましたが、公益法人としても自助努力が限界に達していることから、昨年10月の消費税率の改定に伴い、注射料金の改定を各市町村にお願いしているところです。

さらにこの夏に開催される東京オリンピック・パラリンピックを控え、「食品の安全性確保」への関心も益々、高まっており、人と動物の健康を担う医師と獣医師が"OneHealth"の概念に基づ

き、密接に連携し、安全で安心な社会を構築することが今こそ求められています。埼玉県においても、埼玉県獣医師会と埼玉県医師会とが協定を締結した時の理念である「人と動物の健康は一つ。そして、それは地球の願い」との思いを抱いて、これまで以上に医師と獣医師が緊密に連携して、課題解決に取り組んでいく必要があると実感いたしているところであります。

埼玉県獣医師会といたしましては、これまでも「今ある命を大切にし、また、無駄な命を増やさない」をモットーに、動物福祉・愛護への考え方の普及を図ってまいりました。これからも、より、人と動物が共存する豊かな社会の実現が図られるよう、一層努力してまいりたいと考えています。

我が国は、これから、少子高齢化が一段と進み 人口が減少するとともに、国民の生活様式や価値 観も大きく変化していくものと思われます。また、 高齢社会となって介護も増えてまいりますが、そ の一助として、動物との触れ合いも増えてくるも のと思われます。私は動物の役割がますます重要 になってくるため、改めて人と動物が共存して、 豊かな社会が築いていけるようにしていきまたいと 考えています。そのためにも、獣医師会と医師会 と行政が連携して、人と動物の共通感染症から国 民と動物を共に守り、双方が安心して暮らしてい ける社会にしていきます。

私は、埼玉県獣医師会が公益団体として今後とも県民の期待に応えてまいりますため、引き続き、会員の皆様とともに、次の点に努力してまいりたいと考えております。

私たち埼玉県獣医師会は、

- 1 社会から期待され信頼される公益団体を目指 すとともに、これまでの活動で培ってきた伝統 を受け継ぎながら、新しい時代に向けた適切な 会務運営に努めてまいります。
- 2 あらゆる機会を捉えて、獣医師及び獣医師会 の果たす社会的使命や役割を広く情報発信する とともに、施策提言に努めてまいります。

また、「獣医師の誓い-95年宣言」、「埼玉県

獣医師会員憲章」並びに「獣医師会活動指針」 に則り、会員の法令遵守と獣医師職業倫理の高 揚を図ってまいります。

3 国や県、市町村、また、埼玉県医師会などの 関係団体と緊密に連携し、食の安全確保対策の 推進や狂犬病等の人と動物の共通感染症の予防 対策に適切に対応してまいります。

また、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病については、発生予防、迅速な通報と初動防疫及び飼養管理基準の遵守等について、行政機関と連携して指導に努めてまいります。

4 人と動物が共存する豊かな地域社会の実現を 目指して「埼玉県動物愛護管理推進計画」の着 実な推進を支援してまいります。

また、命の尊さを通じ豊かな性感を育てる学 校動物飼育活動や動物福祉の増進等の取組を推 進してまいります。

5 「災害時における愛護動物の救護活動に関す る覚書」に基づき、埼玉県と連携して具体的な 救護体制の整備に取り組んでまいります。

また、傷病野生鳥獣の保護管理につきましては、埼玉県の進める保護対策事業を推進し、生物多様性の保全を図ってまいります。

6 学術講習会や交流会等を積極的に開催すると ともに、各種学会への会員の参加を支援するこ とで、知識、技術の高位平準化を図り、その成 果を広く県民に還元してまいります。

さらに、日本獣医師会の「獣医師生涯研修事業」については、本会が全国トップクラスの実績を誇っておりますことから、引き続き、会員の参加を促進してまいります。

7 動物愛護フェスティバルや日本獣医師会主催 の動物感謝デー等に積極的に参加し、獣医師会 の果たす役割と会員の活動内容を広く県民に啓 発してまいります。

私は、昨年10月4日にホテルルポール麹町で開催された全国獣医師会・会長会議において、常設議長として指名され、議事を進行しました。すでに4期目となりましたが、地方会の会長からは、現場の有意義な質問や意見を引き出し、執行部には、適切な回答を求めて、その調整対応にあたり、円滑な運営に務めました。さらに今回は県内でのCFSの発生を受け、岐阜県及び埼玉県からその状況や問題点を全国に向け説明させていただきました。今後も日本獣医師会と地方獣医師会とが連帯感をもって諸事業を推進するとともに、これらの課題解決にあたっていけるよう努力していきたい

と考えております。

また、多様化した変革の時代にあっては、埼玉 県獣医師会は、動物や人の健康など、人々の生活 に直結した幅広い分野で活躍されておられる会員 の皆様を「主役」に、会員相互の「絆」を深めな がら、組織としての総合力を発揮していくことが 重要となってまいります。

私たちは、昨日より今日、今日より明日と、日々「進歩」しておりますが、これからの時代は、進歩だけでは社会の期待に応えていくことはできません。進歩しつつも、組織の中で大きく変革し「進化」していかなければなりません。

私は、これからも皆様とお互いに手を携え、常に「進歩と進化」を続け、組織のリーダーとして初心を忘れることなく、国や地方、県や市町村、更には政治や各種団体等、各界、各層と密接に連携を図りながら、「熟慮」、「決断」、「実行」をモットーに、新しい時代の潮流を見定め、期待される埼玉県獣医師会の構築のために全力で取り組んでまいります。

組織の舵取りを行っていくには「3つの目」が必要とされます。一つ目は、近づいて様々な角度から複眼的に物事を見る「虫の目」、二つ目は、高い位置から俯瞰的に全体を見回して物事を見直す「鳥の目」、そして、三つ目が、潮の流れを見る、つまり、時代の流れを読む「魚(さかな)の目」です。私は、常にこの「3つの目」の視点により、今後とも自信と責任と誇りを持って、会の運営に努力してまいりますので、皆様の一層の御支援をお願い致します。

今年は子年(ねどし)です。子という字は「繁殖する」という意味をもつ「孳」(し)という字に由来し、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているとされております。まさしくこれからの繁栄を表しています。今年は、埼玉県獣医師会会員が健康で一致団結し、新たな節目に向かって大きな一歩を踏み出して一層強固な獣医師会にしていく年になるものと思っております。

新たな年をはじめて令和の元号で迎えました。この夏に開催されるオリンピック・パラリンピックを是非とも成功させ、これが紛争のない平和な世界のきっかけになることを願うとともに、本年が、会員の皆様にとりまして、希望に満ちて、健康で平和に過ごせる一年となりますことを心からお祈り申し上げ、私の新年の御挨拶とさせていただきます。

#### 会務報告

#### 第5回 理事会

令和元年12月19日(木)午後4時から、さいたま市岩槻区「寿々家」において次の事項を審議した。

#### 1 会長挨拶

本会も昨年6月の総会で一部の役員が新たに就任したが、両副会長をはじめ多くの役員が留任しており、今までの経過を踏まえながら、修正すべきことはこの2年間でしっかり修正していきたい。第1が狂犬病、そして第2が野生鳥獣の関係であり、それぞれ担当の副会長を中心にしっかりやっていただきたい。豚コレラの情報は皆さんに随時速やかにお知らせしているところであるが、埼玉県での発生が関東地方で初の発生であり、そのステージが変わりこれまで使用に踏み切れないでいたワクチンを使用した防疫体制となった。すべての事業が順調に推移しているが、狂犬病の料金改定について進めていかなければならないのでよろしくお願いする。

#### 2 報告事項

- (1) 前理事会後に開催された委員会等に関する件 各委員長から次のとおり報告された。
  - ア 第2回狂犬病予防委員会及び令和元年度集合狂犬病予防注射実施者講習会開催し、その運営と令和 2年度集合狂犬病予防注射実施スケジュールについて協議した。(12月10日)
  - イ 厚生委員会書面協議 ボウリング大会の日程について協議した。(12月13日)

#### 3 議決事項

第1号議案 役員報酬の支給に関する件

各役員に支給する役員報酬額について決定した。

第2号議案 集合狂犬病予防注射手数料の改定に関する件

手数料を改定することが承認された。

第3号議案 集合狂犬病予防注射実施要領の一部変更に関する件

手数料の変更に伴う実施要領の一部変更が承認された。

そ の 他 所沢班班長の交代に関する件

所沢班班長の交代が承認された。

#### 4 協議事項

ア 令和2年度集合狂犬病予防注射実施に関する件について

集合狂犬病予防注射実施者講習会に出席できなかった先生を救済することについて協議し、了承された。

イ その他

なし

#### 予告 さいたま市支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(2) 小3(3))

さいたま市支部長 髙橋 一成 学術委員 林津 陽平

さいたま市支部では、麻酔学第2弾として、どうぶつの総合病院麻酔科主任、米国獣医麻酔疼痛管理専門医の浅川誠先生をお招きし、局所・領域麻酔法(神経ブロック)と癌性疼痛への対応を実践的に学ぶセミナーを開催いたします。診療、手術時の疼痛管理をレベルアップさせましょう。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

■均玉県庁第二庁舎

■ 埼玉県庁

日 時:令和2年3月15日(日)

13:30~16:30

場 所:埼玉会館 7階 7A会議室

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4

TEL: 048-829-2471

演 題: 「局所・領域麻酔法~神経ブロック癌性疼痛への対応~本当の緩和療法を行う!」

講 師:どうぶつの総合病院 麻酔科主任 外科主任

米国獣医麻酔疼痛管理専門医(ACVAA)

浅川 誠 先生

参加費:埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 5.000円

#### ( 新入会員報告 )

#### 新入会員



いわなが たかひろ 岩永 貴浩 衛生支部

#### 勤務部会

支 部 名	氏	名	勤務先
衛生	岩永貴	責 浩	さいたま市役所

#### ひろば

#### 東支部学術講習会開催報告

東支部長 渋谷 正志 学術委員 田口 修

東支部では、12月8日(日)に犬と猫の内科の病院 まつき動物病院の松木直章先生をお招きして「犬のクッシング症候群とアジソン病」と題して学術講習会を開催いたしました。

今回の講習会では、日本でのクッシング症候群そしてアジソン病の現状と診断手順と治療方針をお話しいただきました。診断においては様々なホルモン検査の活用法、治療においては松木先生の実際に実践されている方法を教えていただき非常に我々の明日からの診察に役立つ講習会でした。

ご参加していただいた先生からも多数の質問があり、大変有意義な講習会でした。

#### <参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
62名	5名	7名	0名	2名	38名	7名	3名

#### 北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓 学術委員 髙野 宜彦

北支部では、12月15日(日)に宮崎大学の中村健介先生をお招きし、「心筋症だけじゃない、猫の心臓病」 と題した学術講習会を開催いたしました。

今回の講習会では、猫の心筋症と心筋症以外の先天性心疾患などについてご講演頂きました。

数多くの論文のデータや実症例の診断方法など詳細に解説して頂きました。

質疑応答も活発で、大変有意義な講習会でした。

#### <参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
31名	2名	1名	1名	16名	3名	3名	5名

#### 第148回 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

幹事 山田 和男(北支部)

令和元年12月19日(木)、鳩山カントリークラブにおいて第148回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが20名の参加者で開催されました。

プロのトーナメントも開催された事のある名門コースだけにアンジュレーションが強く、さらに硬くしまった高速グリーンに大変苦労しましたが、北支部の小島満先生が見事べスグロ優勝を果たされました。 また表彰式の後に恒例の年末オークションが行われ、パーティーも大いに盛り上がりました。

		ネットスコア	
優勝	小島 清	· 先生(北支部)	77
準優勝	斎藤 祐言	引 さん(株ミネルバ)	78
第3位	鈴木 光良	阝 先生(南支部)	81

ベストグロス 小島 満先生(北支部)89

次回は、令和2年3月12日(木)日高カントリークラブにおいて開催予定です。 ゴルフに興味のある方、初心者の方も是非ご参加ください。

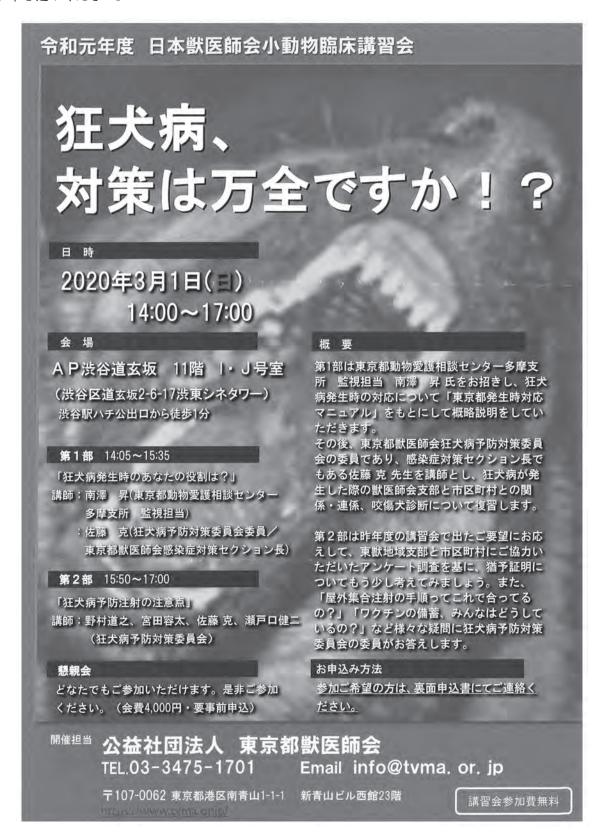


左から 長谷川繁雄ゴルフ同好会会長、優勝の小島満先生、第3位の鈴木光郎雄先生、準優勝の斎藤祐司さん

#### お知らせ

#### 日本獣医師会小動物臨床講習会(開催担当:東京都獣医師会) の開催について

開催担当の東京都獣医師会から案内がありました。出席される先生は次ページの参加申込書により、各自でお申し込みください。



# 令和元年度 日本獣医師会小動物臨床講習会 狂犬病、対策は万全ですか!?

#### 参加申込書

氏 名	·
勤務先名	*
電話番号	
ご所属先	

(獣医師会会員の方は所属獣医師会名をご記入ください)

講習会への参加について参加・ 不参加

懇親会への参加について参加 • 不参加 (懇親会は会費4,000円)

≪返送先 東京都獣医師会 FAX O3-34O5-O15O≫

#### 申込期限 2月14日(金)

#### AP渋谷道玄坂

#### 交诵アクセス

- <JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン>ハチ公改札口より徒歩約1分
- <東急東横・田園都市、東京メトロ 各線>2番出□直結
- <京王井の頭線>より徒歩約1分



畜安第799-3号 令和元年12月20日

公益社団法人埼玉県獣医師会 会長 髙橋 三男 様

> 埼玉県農林部畜産安全課 課長 丸山 盛司(公印省略)

「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん 延防止措置の実施に当たっての留意事項について」の一部改正について (通知)

日頃より、家畜衛生行政の推進につきまして、御理解、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、標記について、令和元年12月20日付け元消安第4136号により農林水産省消費安全局長から一部 改正した旨の通知がありました。

ついては、貴会会員に周知いただくとともに、引き続き、本病の発生予防及びまん延防止措置等への 御協力をよろしくお願いいたします。

この度の改正内容については、試験・研究目的の豚等のみが飼養されている高度なバイオセキュリティを有する施設が該当することに御留意願います。

#### 広告



毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに!

## (FT))

研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町 5 丁目 19 番 21 号 TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344 URL: http://www.matsuken-yakuhin.com E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

#### ■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

#### 松研の動物用生物学的製剤

#### 豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF 10
- ポーシリス Begonia DF 50

#### 水産用ワクチン

- *Mバック レンサ* 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IP レンサ

#### 家畜用抗毒素

■ 破傷風血清

畜安第802-3号 令和元年12月20日

公益社団法人埼玉県獣医師会

会長 髙橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長 丸山 盛司(公印省略)

# 年末年始、春節等に向けたASF、口蹄疫等に関する防疫対策の強化について(依頼)

日頃から家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、標記について、令和元年12月20日付け元消安第4117号農林水産省消費·安全局長通知(以下「国通知」という。)がありました。

ついては、記以下に記載する飼養衛生管理基準の中でも特に重要な項目について、農場管理者等の遵守が徹底されるよう、貴会会員への周知に御理解、御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 牛、豚等の飼養農場における飼養衛生管理の指導等
  - (1) 飼養管理者と家畜保健衛生所との連携

家畜の異状が確認された際、飼養管理者が直ちに家畜保健衛生所に連絡する体制を確保するとともに、CSFやASFに関連する最新情報を適宜入手できるよう御配慮願います。

(2) 適切な洗浄・消毒の再徹底

農場周囲の防護柵設置等のイノシシ侵入防止対策や、出入りする車両や人の消毒等、病原体侵入 防止対策について徹底するよう御指導願います。

(3) 予防的ワクチン接種時の豚の健康状態の確認

ワクチン接種時には家畜保健衛生所の指導に従い、豚の健康状態の観察のほか、過去の異状の状況や投薬歴を確認するよう御指導願います。

2 畜産関係者の海外渡航の自粛及び渡航する場合の留意事項について

農場の従業員も含めた畜産関係者に対し、ASF、口蹄疫等が発生している国への渡航を可能な限り自粛するよう要請し、やむを得ず発生している国へ渡航する場合には、以下の点に留意するよう御指導願います。

- (1) 渡航に当たっての留意事項
  - ア 農場やと畜場などの畜産関連施設に立ち入らないこと。
  - イ 動物との不用意な接触は避けること。
  - ウ 肉製品等を日本に持ち帰らないこと。
  - エ 帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。
- (2) 帰国後の留意事項

飼養衛生管理基準に基づき、帰国後一週間、衛生管理区域に立ち入らないこと。農場主、従業員 等必要のある者がやむを得ず立ち入る場合は、洗髪・入浴、更衣等適切な処置を講じた上で立ち入 ること。 また、海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込まないこととし、やむを得ず持ち込む場合には、事前に洗浄、消毒その他必要な措置を講ずること。

3 衛生管理区域及び畜舎への立入制限及び立入りの際の消毒等について

家畜の所有者に対し、看板の設置等により、必要のない者が衛生管理区域及び畜舎に立ち入ること 並びに不要な物を持ち込むことのないよう御指導願います。

また、農場の従業員も含め、衛生管理区域及び畜舎に立ち入る場合には、手指、靴等の消毒を実施するとともに、衛生管理区域専用の衣服及び靴を設置し、これらを確実に着用させることについても併せて御指導願います。。

- 4 早期発見・早期通報の徹底について
  - (1) 各疾病における特定症状を改めて確認するとともに、改正したCSF、ASF及び口蹄疫の指針に基づき、防疫対策を徹底するよう御指導願います。
  - (2) (1)の症状を呈している家畜を発見したときは、管轄する家畜保健衛生所に速やかに届け出ることのほか、早期発見・早期通報できるよう、飼養家畜の毎日の健康観察を入念に行うよう御指導願います。
- 5 緊急連絡体制の確保及び周知について

休日、年末年始においても、万が一の発生の際には、管轄する家畜保健衛生所へ支障なく連絡が行われるよう御指導願います。

元日獸発第242号 令和元年12月17日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 会長 藏 内 勇 夫 (公印及び契印の押印は省略)

#### 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令及び施行 規則の一部改正について

このことについて、令和元年12月6日付け環自野発第1912062号をもって環境省自然環境局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、令和元年11月7日付けで「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令(令和元年政令第153号)」が公布されるとともに、令和元年11月19日付けで「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行規則の一部を改正する省令(令和元年環境省令第16号)」が公布され、ともに令和元年11月26日から施行されたことにより、国際希少野生動植物種について、一部変更した旨の周知を依頼するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

元日獸発第251号 令和元年12月25日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 会長 藏 内 勇 夫 (公印及び契印の押印は省略)

# マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の呼びかけについて (協力 依頼)

本会の事務事業につきましては、日頃よりご理解及びご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、本年6月4日にデジタル・ガバメント閣僚会議で決定された「マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進に関する方針」(以下「方針」という。)においては、「令和2年度に実施するマイナンバーカードを活用した自治体ポイントによる消費活性化策」と、令和3年3月から本格運用する「マイナンバーカードの健康保険証利用の仕組み」が、「円滑に実施されるよう、マイナンバーカードの普及を強力に推進する必要」があるとされました。これを受け、「各府省は、本方針を踏まえ、マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進を強力に推進するとともに、各業所管官庁から関係業界団体等に対してマイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進を呼びかけ、マイナンバーカードを基盤とした安全・安心で利便性の高いデジタル社会と公平で効率的な行政の構築を目指す」とされたところです。

その上で、本年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」においては、方針に基づき、「安全・安心で利便性の高いデジタル社会をできる限り早期に実現する観点から、」「マイナンバーカードの普及を強力に推進する」とされています。

以上を踏まえ、農林水産省から、マイナンバーの積極的な取得と利活用の促進についての依頼がありました。

つきましては、<u>下</u>記の要領で、貴会の会員等に対し、マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の 促進について、呼びかけを行っていただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 内閣府が用意した呼びかけに係る資料をご自由に御活用ください。 資料は、そのまま、貴会のホームページへ掲載いただいたり、会員に対しメール添付でお知らせい ただける形になっております。
  - ①チラシ「メリットいっぱい、マイナンバーカード」
  - ②ポスター「これからは手放せない!マイナンバーカード」
  - ③リーフレット「持ち歩いても大丈夫!マイナンバーカードの安全性」
  - ④リーフレット「つくつてみよう!マイナンバーカード」
  - ⑤リーフレット「こんなとき あってよかった! マイナンバーカード」
  - ⑥広報用ひな形原稿(文字のみ)
    - (①~⑤は内閣府のWebページからダウンロードしてください。

https://www.cao.go.jp/bangouseido/ad/file. html)

- 2 会員等に対する呼びかけは、できる限り速やかに実施いただけると幸いです。
- 3 国では、カードの交付申請について、会社等に赴く方式を用意しています。御興味がある会におかれましては、市区町村のマイナンバーカード担当課に御相談ください。
- 4 以上のほか、貴会の実情に応じ、会員等に対し、効果的な呼びかけ等を行っていただくとともに、 チラシの配布、広報誌やメールマガジン等を発行・送付する機会にマイナンバーカードの普及促進に ついて掲載していただくなどの働きかけを行っていただけると幸いです。

事務連絡

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 副会長·専務理事 境 政人

## 獣医師等による未承認動物用医薬品の広告等に係る法令遵守の徹底について(依頼)

このことについて、令和元年12月9日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐(薬事監視指溝班担当)及び課長補佐(獣医事班担当)から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(昭和35年法律第145号。以下「医薬品医療機器等法」という。)第14条に基づく承認を受けていない動物用医薬品(以下「未承認動物用医薬品」という。)について、医薬品的な効能又は効果を広告する行為は医薬品医療機器等法第68条に、末承認動物用医薬品を販売又は授与する行為は同法第55条に抵触する可能性があること、さらに罰金以上の刑に処せられた獣医師に対しては「獣医師法」(昭和24年法律第186号)第8条第2項第3号の規定に基づき、免許の取消し又は業務の停止という行政罰が付加されることについて周知を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

#### 広告

#### わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。









# **公森久保薬品株式会社**

神奈川:046-221-0620 山梨:055-224-5278 群馬:027-230-3322 東京:042-564-2381 埼玉:04-2968-0881 三郷:048-948-2112 栃木:028-666-3399 茨城:0296-43-1661 成田:0476-40-5811 茂原:0475-24-1613

元日獣発第260号 令和2年1月6日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 副会長·専務理事 境 政人

#### 副作用等の報告方法について

このことについて、令和元年12月9日付け元動薬第2311号をもって、農林水産省動物医薬品検査所企 画連絡室長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、副作用情報データベースを更新し、令和2年1月14日から新たな副作用情報データベース運用を開始することに伴い、同日より副作用等の報告様式及び報告方法を変更する旨を通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事務連絡

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 副会長·専務理事 境 政人

#### 鹿児島市におけるBウイルス病患者(2例目)の発生について(情報提供)

このことについて、令和元年12月24日付け事務連絡をもって、厚生労働省健康局結核感染症課から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、今般、鹿児島市において 2 例目となるBウイルス病(四類感染症)患者が発生したので、①別紙 1 のとおり自治体あてに通知を発出したこと及び②事例を別紙 2 のとおり鹿児島市おいて公表していることについで情報提供されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事 務 連 絡 令和2年1月14日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 副会長·専務理事 境 政人

医薬品、医薬機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について(施行通知)

このことについて、令和元年12月18日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐(薬事監視指導班担)から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、12月17日に医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令(令和元年厚生労働省令第81号)が公布されたことに伴い、3-[1-(エチルアミノ) シクロヘキシル]フェノール及びその塩類2-(ブチルアミノ)-1-(4-クロロフェニル)プロパン -1-(4-クロロフェニル) プロパン -1-(4-7) プロパン -

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

元日獸発第267号 令和2年1月16日

地方獣医師会会長各位

公益社団法人 日本獣医師会 会長 藏 内 勇 夫 (公印及び契印の押印は省略)

#### 麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の 一部を改正する政令の公布について(通知)

このことについて、令和元年12月19日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐(薬事監視指導班担当)から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令(令和元年政令第191号)が公布されたことに伴い、新たにメチル=3 -  $\{(4S) - 8 - プロモ - 1 - メチル - 6 - ピリジン - 2 - イル - 4H - イミダゾ[1,2 - a][1,4]ベンゾジアゼピン - 4 - イル <math>\}$  プロパノエイト(別名レミマゾラム)及びその塩類が新たに向精神薬(第三種向精神薬)に指定され、令和2年1月17日から施行される旨の通知です。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

### 令和元年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和2年1月20日現在)

年 月 日	産業動物	小 動 物	公 衆 衛 生
4月			
5 月			
6月14日(金) ~16日(日)		学会/第110回日本獣医循環器学会/第65回日本 合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ	
7月15日 (月・祝)		東支部 「ふだんは治療がうまくいくけど、たまに 痛い目に遭うことがある犬の肥満細胞腫 アップデート」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
8月			
9月1日(日)		北支部 「僧房弁閉鎖不全症~エビデンスでみる内 科から外科への移行のタイミング~」 近畿動物医療研修センター附属動物病院 森拓也 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
9月1日(日)		東支部 「麻酔学;周術期のモニタリング」 日本獣医生命科学大学 神野 信夫 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月6日(日)		北支部 「周術期の麻酔モニタリング」 札幌夜間動物病院 遠藤雄介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
10月18日(金)	北支部 「AMRを考える 産業動物診療を基礎から見直そう!正しい薬の使い方について」 麻布大学 佐藤 礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所) →延期		
10月20日(日)		西支部 「腎泌尿器疾患で押さえておきたい7つのこと」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月27日(日)	2019年度 関東・東京	合同地区獣医師大会(千葉)獣医学術関東・東京 (千葉市 幕張メッセ)	京合同地区学会
11月4日 (月·祝)		南支部 「疑問を徹底解説〜新ACVIM新ガイドライン2019〜」 近畿動物医療研修センター附属動物病院 森拓也 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
11月24日(日)		西支部 「眼科の緊急疾患〜角膜疾患と緑内障」 日本小動物医療センター 小野 啓 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月8日(日)		東支部 「内分泌学;犬のクッシング症候群とアジソン病」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	

年 月 日	産業動物	小 動 物	公 衆 衛 生
12月15日(日)		北支部 「心筋症だけじゃない猫の心臓病」 宮崎大学 中村 健介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
令和2年 1月19日(日)		南支部 「臨床医が臨床医に伝える臨床医のための がんの診断学」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (さいたま市 さいたま共済会館)	
1月24日(金)	農林支部 令和元年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
1月26日(日)		さいたま市支部 「麻酔学を基礎からもう一度考えよう」 どうぶつの総合病院 淺川 誠 先生 (さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野)	
1月26日(日)		西支部 「慢性腸症と蛋白喪失性腸症」 東京大学 大野 耕一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月2日(日)		南支部 「人間にはない勤務犬の魅力 および 救急蘇 生法と聖マリアンナ医大救急救命センター の紹介」 聖マリアンナ医科大学 北川 博昭 先生・平泰彦 先生 (さいたま市 貸会議室6F)	
2月2日(日)		北支部 「疾患別の麻酔モニタリングで注意すること」 札幌夜間動物病院 遠藤 雄介 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
2月7日(金) ~9日(日)	2019年月	度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(東京) (東京国際フォーラム)	
2月16日(日)		西支部 「猫によくみられる問題行動」 日本獣医生命科学大学 水越 美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月20日(木)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 県食肉 衛生検査センター)
3月15日(日)		さいたま市支部 「局所・領域麻酔法〜神経ブロック癌性疼 痛への対応〜本当の緩和療法を行う!」 どうぶつの総合病院 淺川 誠 先生 (さいたま市 埼玉会館)	

#### 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL http://www.saitama-vma.org/

ID: SVMA(半角・大文字) パスワード: MITSUO(半角・大文字)

- 1月16日 知事と農林水産団体長との懇談会(さいたま市 知事公館)
- 1月19日 南支部学術講習会(さいたま市 さい たま共済会館)
- 1月19日 西支部新年会(川越市 川越東武ホテル)
- 1月22日 新入会員研修会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)
- 1月23日 埼玉県狂犬病予防協会研修会(桶川市 さいたま文学館)
- 1月24日 埼玉県保健衛生業績発表会(さいたま 市 大宮ソニックシティ)
- 1月26日 さいたま市支部学術講習会(さいたま 市 ホテルブリランテ武蔵野)
- 1月26日 さいたま市支部新年会(さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野)
- 1月26日 西支部学術講習会(川越市 川越南文 化会館)
- 1月28日 損害評価会家畜共済部会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)
- 1月29日 埼玉県農業技術研究センター試験研究 成果発表会(熊谷市 農業大学校)
- 2月2日 南支部学術講習会(さいたま市 貸会 議室6F)
- 2月2日 北支部学術講習会(熊谷市 ホテルシ ティーフィールドかごはら)
- 2月2日 東支部新年会(越谷市 越谷サンシティ)

- 2月6日 所得税の確定申告並びに生前贈与・相 続等の個別相談会(さいたま市 埼玉 県農業共済会館)
- 2月7日~9日 2019年度日本獣医師会獣医学術 学会年次大会(東京都千代田区 東京 国際フォーラム)
- 2月7日 日本獣医師連盟通常総会(東京都千代 田区 東京国際フォーラム)
- 2月11日 ボウリング大会(さいたま市 浦和国 際ボウル)
- 2月16日 西支部学術講習会(川越市 川越南文 化会館)
- 2月16日 第3回関東・東京合同地区理事会(千 葉県千葉市 東天紅)
- 2月19日 集合狂犬病予防注射関係資材売買契約 会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)
- 2月20日 食肉衛生技術研修会(さいたま市 県 食肉衛生検査センター)
- 2月21日~23日 第16回日本獣医内科学アカデ ミー学術大会(神奈川県横浜市 パシ フィコ横浜)
- 3月2日 第2回畜産懇話会・畜産会役員会(熊 谷市 ホテルヘリテイジ)
- 3月15日 さいたま市支部学術講習会(さいたま 市埼玉会館)
- 9月6日 関東·東京合同地区獣医師大会(栃木) (栃木県栃木市 栃木総合文化セン ター)

#### 編集後記

あけましておめでとうございます。

元号が変わって始めてのお正月にふさわしく、三が日は雲一つない晴天に恵まれました。 天皇陛下即位の式典も済み、オリンピック・パラリンピックが開催されるこの年こそ希望の持てる、そして平穏な一年であって欲しいものである。

我々獣医師にとっては昨年を振り返ると豚コ レラを語らずにはいられない。

海外旅行からの帰りの機内でも、着陸前に必ず客室乗務員がCSFやASF、鳥インフルエンザ等に関して具体的な例を挙げての畜産物の持ち込み禁止を以前にも増して強く呼び掛けている。海外からどんな感染症が入って来るか分からない、狂犬病を含め、検疫体制には万全を期すことを願っている。

さて、県内ではCSFワクチンの全頭接種は終了し、今後生まれてくる子豚と種豚の追加接種を残すのみになった。ほつと一息ついている間もなく、沖縄県でCSFが連続して発生している。防疫措置の一層の推進が望まれる。

豚コレラの集中予防的ワクチン接種に参加したが、中~大規模の養豚場での種豚、肉豚、子豚全頭に1日又は短期間に予防接種を行う作業は、女性獣医師や出動した我々年配の獣医師には大変厳しい作業であった。全ての養豚場が良い環境ではなく、薄暗い豚舎内ではヘッドライトを頼りにして午前10時から午後5時過ぎまでのワクチン注射で疲労困憊だった。

県内の一獣医師として、今回のCSF発生に対する殺処分を含めた一連の防疫対応に携わった 県庁農林部や保健医療部の獣医師の先生方はも とより、動員された一般の職員の方々にも心か ら御礼を申し上げます。本当にご苦労様でした。 今後は引き続いて予防注射の励行をお願いする とともに、イノシシも含めCSFウイルスの動き がなくなることを心より願っています。 今回、国はASFが発生したら家伝法を変えて3キロメートル圏内の養豚場の豚を全て処分するとの報道があった。その通りだ、ワクチンのないASFが我が国に侵入したら殺処分以外にその拡散を防ぎようがない。養豚に関わる獣医師として、CFSの発生がひと段落したとしても、生産者とともに飼養衛生管理基準の遵守に少しでも隙があってはならない。

先月号でお知らせがあったが、日本獣医師会の獣医学術学会年次大会が東京国際フォーラムで2月7日(金)~9日(日)まで開催されます。また、第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会が2月21日(金)~23日(日)に開催され、大会長の辻本先生、実行委員長の亘先生によると内容は益々グレードアップしているとの事、いずれも事前参加登録は締め切られましたが、当日登録も含め是非多くの先生方の参加をお願い致します。

12月10日には狂犬病集合注射実施者講習会が 開催され、多くの先生方に出席していただきま した。講師の中村篤史先生、木村光一先生には それぞれの分野でその豊富な経験に基づいた大 変わかりやすい講演をしていたたき、非常に有 意義な講習会となりました。また、各班の班長 さんを始めとする役員の皆さんには、当日の運 営をはじめ、平成9年以来、実に20年以上振り となる集合狂犬病予防注射料金の改定に向けて 市町村担当者との調整に大変ご苦労をお掛けし ました。お蔭様で現在、各市町村と契約に向け て事務が進んでいるところです。

中国では新型のコロナウイルスによる肺炎が次々発生し、感染者が我が国にも入国しました。これから春節を迎え中国では人の動きが大きくなります。海外からの人や動物の病気の侵入に注視しながら、寒暖の差が激しいこの冬は、体調に十分に気を付けていただき、お互いに元気で春を迎えましょう。 (不動)



# Allermmun

《世界初》 犬アトピー性皮膚炎治療は次世代へ。



動物用医薬品(劇)要指示



アレルミューン® HDM

#### アレルミューンHDMの特長

世界初、犬アトピー性皮膚炎の主要アレルゲン Der f 2抗原を使用した 次世代減感作療法薬

遺伝子組換え技術を用いて作製、精製した単一抗原に中性単純多糖 であるプルランを結合した、次世代減感作療法薬。

組換え型Der f 2-プルラン結合体により、 有効性と安全性の向上を実現

組換え型Der f 2にプルランを結合させることにより、IgE抗体産生 抑制とIgG抗体産生増強を確認。

臨床試験において、高い有効性と安全性を確認 臨床試験では臨床症状の改善が認められるとともに、アナフィラキシ ショックなど重篤な副作用は観察されず、有効性及び安全性を確認。

簡便な投薬プログラムにより、高い利便性を実現 週1回、計5回ないし6回投与というプロトコールで、従来の減感作療法 における、頻回投与、長期治療という煩雑さを克服。



日本全薬工業株式会社

KM1902-2



#### 日本獣医師会・獣医師会活動指針

#### - 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。-

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、 感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一 つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につなが る。」との考え方(One World-One Health)が提唱され、「人と動物が共存 して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領ー獣医師の誓い -95年宣言 -」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と 獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、 動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与す るとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境(生態系)は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会(WSC)が提唱した。また、国際獣疫事務局(OIE)は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

-3962 -5962

636

# 彩の国 さいたま

